



Stereo誌付録のOM-MF4-MICAを1本使用した石田式B H B S

設計は、いつも通りの石田式B H B Sを石田が感性で製作をしています。

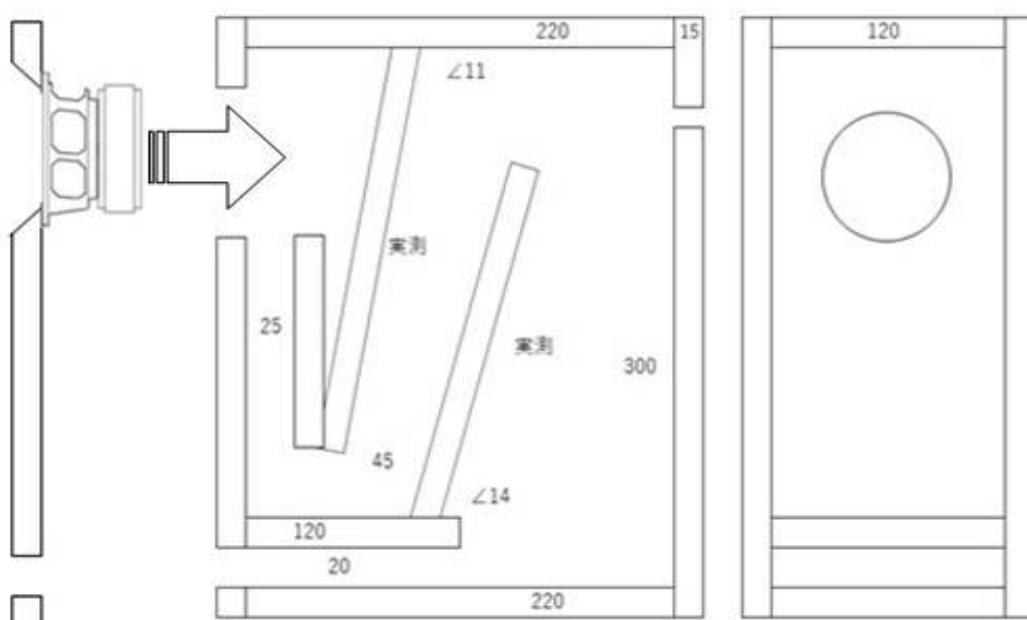
今回は、雑誌サイズのA4サイズ297mm×210mmを意識して極力サイズダウンを試みています。

実サイズ：H300mm×W150mm×D250mmと少しA4サイズより大きいです。

実験では、A4サイズより小さな箱も製作をしていますが、スケール感は小さくなりますがそれなりのレンジで鳴っていました。

詳しくは、ブログ・ハイエンド自作スピーカーを参照して下さい。

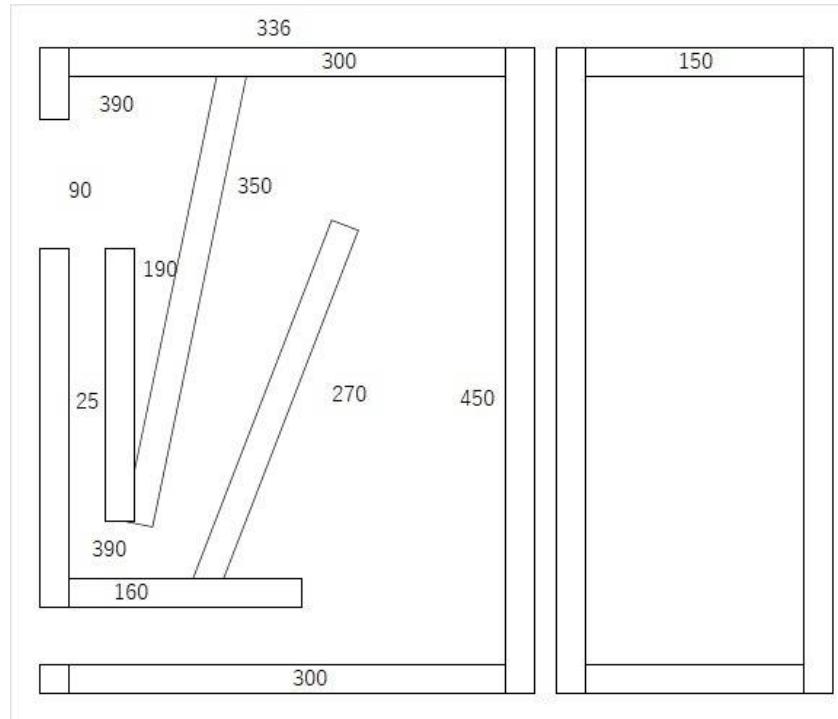
確か？あまり当てにならない空気録音もしていると思います。



ダクトのサイズは図面上では、120mm×20mmありますが、良いところ取りで半分の面積の60mm×20mmとします。

このダクトの面積は自室での試聴時の結果であり、他のお宅では大きくなる可能性があります。

FE88sol



使用ユニットは、Fostexの限定ユニットFE88solになります。

このユニットの選定は、前回のオフ会時に高橋さんよりFE88soを石田式B H B Sで鳴らしたい。

前回のオフ会でも、肝になる部分の質問をされていました。

そんな事もあり、遊び心でFE88solを詰めたくなり、今回の試作箱の製作に至っています。

腐ってもF Eです。それなりの容積は必要です。

サイズは、H450mm × W180mm × 330mm

方式は、全く1ペア目と同じでサイズとホーン拡張比率が微妙に違う程度。

いずれの箱も、吸音材の使用は皆無。

少しは使った方が良いかも知れませんが、不使用に拘りを持ちたい。

ブログで使用した写真を使用しています。詳細はブログで確認して下さい。

